

特急「やくも」に投入する新型車両のデザインの決定について

～沿線の風景に響き自然に映える車体、山陰の我が家のようにくつろげる温もりのある車内～

2022年10月20日
西日本旅客鉄道株式会社

JR西日本グループでは「JR西日本グループ中期経営計画2022」に掲げる、地域共生の深耕に向けて新幹線を基軸とした広域鉄道ネットワークの磨き上げの取り組みを進めています。この度、2024年春以降に山陰・山陽エリアを結ぶ特急「やくも」に投入予定の新型車両（273系特急形直流電車）の車両デザインが決定しましたのでお知らせします。

1. デザインコンセプト

「沿線の風景に響き自然に映える車体、山陰の我が家のようにくつろげる温もりのある空間」

山陰・伯備線の風景に響き、自然に映える車体				山陰の我が家のようにくつろげる、温もりのある車内	
鬱金色 うこん色	黄金色 こがね色	銅色 あかがね色	赤銅色 しゃくどう色	普通席：麻の葉柄	グリーン席：積石亀甲
沿線の自然・景観・文化・歴史を尊び、お客様と交感する色				沿線には、鳥にまつわる伝説【天子狩の鳥甲神比咩】や地名【鳥道】があるため、神話の國を語る、やくも沿線の自然と風土をイメージしています。	
やくもブロンズ				沿線には、鳥にまつわる伝説【天子狩の鳥甲神比咩】や地名【鳥道】があるため、一等車らしく高級の素材とされる鳥の甲殻をイメージしています。	

2. ロゴ・シンボルマーク

シンボルマーク：モダンに八雲立つ、伝統を継承

やくも
YAKUMO LIMITED EXPRESS

3. 車両エクステリアデザイン



4. 車両インテリアデザイン

(1) グリーン車



(2) 普通車



明るく空間の広がりを感じられる黄色ベースに、富と長寿の象徴とされる亀の甲羅をイメージした「積石亀甲」模様をあしらひ、山陰の文化・風土を演出

沿線の山々をイメージした緑色ベースに、古来から神事に用いられ、人を守る魔除けの意味もある「麻の葉」模様をあしらひ、沿線の自然・風土を演出

(3) グループ席



鉄道車両の特性を活かし、大きな窓からの車窓が楽しめ、向かい合える座席構成、フラットにできるシート、大型テーブルと緩やかな仕切りで適度なプライベート空間とした「グループ席」を新たに設け、くつろぎを演出

5. デザイン監修

株式会社イチバンセン（デザイナー川西康之氏） + 近畿車輛株式会社デザイン室

6. 新型車両の主な特徴

(1) 安全性・安定性

- ・防犯カメラの設置による車内セキュリティ向上
- ・車体の衝突安全対策、機器の二重系化等

(2) 快適性

- ・新たに開発・実用化した、国内初となる「車上型の制御付自然振り子方式※」による乗り心地の向上
- ※車上の曲線データと走行地点のデータを連続して照合し、適切なタイミングで車体を傾斜させる（当社、鉄道総合技術研究所、川崎車両の共同開発）
- ・座席間隔の拡大、座り心地を改善した座席の採用
- ・空気清浄機の搭載、抗菌・抗ウイルス加工による安心した車内環境づくり

(3) バリアフリー・利便性]

- ・車椅子スペースの拡大、多目的室の設置など幅広いご利用層を意識した設備の充実
- ・車内 Wi-Fi、全席コンセント、大型荷物スペース設置

(4) 環境負荷の軽減

- ・よりエネルギー変換効率に優れたVVVF制御装置、LED照明等による省エネ化

7. 運行区間

岡山駅～出雲市駅

8. 投入車両数

44 両（4 両×11 編成）

9. 営業開始時期

2024 年春以降、営業運転開始予定

今回ご案内の取り組みは、SDGs 目標の 7 番、9 番、11 番、13 番に貢献するものと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



【お問合せ先】

TEL : 000-000-0000